

●協働学習

■児童生徒発表型

実践タイトル 英語による海外旅行提案コンテスト

本時のねらい

旅行代理店員に扮した生徒がおすすめの独自ツアーを英語で提案するにあたり、タブレットPCの可搬性を生かして画像を相手に見せながら、ペア・グループワーク、全体への発表などさまざまな形態で、状況や相手に応じてリアルタイムにプレゼンテーションを行う。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

タブレットPCの内蔵カメラ機能を使って、常に英語の発音を録画・録音して学習の成果を記録することで、後日にその履歴を再生して、自己評価ならびに教員による評価ができる。タブレットPCの可搬性と画面の大きさを生かしてペアワークとグループワークでプレゼンテーションが行える。個人のタブレットPCを無線セットトップボックスを経由してプロジェクターに接続し、どこからでも全体発表を行うことができる。

Web教材

英語で書かれたWebサイトのデータから必要な情報を得て、自分のプレゼンテーション資料として加工して活用する（英語による情報収集と英語による資料作成）。

参考にしてほしいポイント

海外旅行提案という内容が生徒の興味関心を引き、3分の制限時間内でお勧めポイントを効率よく英語で発表できた。タブレットPCの可搬性を生かして、ソフトウェアの取り扱いについて生徒同士や生徒と先生の協働学習ができ、ビジネス現場でも通用するような、効果的なプレゼンテーションを行えた。また、無線による画像転送でのプロジェクター接続で全体への発表が可能になった。

学習の流れ(分)		主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入 0 5	○本日の活動、趣旨、ルールの英語による説明 ○記録用にプレゼン用原稿をタブレットPCに録画・録音（写真1） （以前に録音した時より、上手に発音できるよう留意する）	・タブレットPC・マイク付きヘッドホン・録画ソフト （自分の顔、特に口元を映すこと）
	展開 35	○ペアワーク（写真2） （他の旅行代理店（生徒）を見つけ、タブレットPCの画面を目の前で見せながら英語で自分の旅行を提案する。聞いている者は提案のポイントを書き取り、発表内容を評価する） ○グループワーク （各代理店内で、一人ずつ発表していき、相互評価に基づき代理店代表者を決定する）	・タブレットPC・プレゼンテーション用データ （コミュニケーションの道具として画像データをタイミングよく活用する）
	まとめ 50	○相互評価、グループ評価の合計での最優秀者決定 ・各班の最優秀者による発表（写真3）	・タブレットPC・セットトップボックス・プロジェクター （発表する者だけがミラーリングをONにすること）



写真1: 個人の発音を録音中の生徒



写真2: ペアワーク活動での発表



写真3: 最優秀者による全体発表

児童生徒の反応

継続的にタブレットPCに音声を録音することで、発音の上達状況を自分で確認でき、生徒たちは自信がいった。「この表現は、ドリルで100回練習しても覚えなかったと思う」と言いながら現在完了構文を駆使した英文で発表した生徒もいた。英語で話すだけでなく映像も使うことで、効果的にプレゼンテーションができた。

活用効果

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、外国語や文化についての知識・理解
具体的変容	意欲的に、自ら相手を見つけ、その相手に効果的なプレゼンテーションが行えるよう、英語のスクリプトと映像をうまく組み合わせ、分かりやすく表現することができた。相手のプレゼンテーション内容を正確に聞き取り、その上で評価する力が付き、諸外国の歴史・文化についての知識・理解が深まった。

実践の手応え

英語で3分間の「旅行の提案」のプレゼンテーションをすることに對し、当初生徒は不安を抱えていたが、取り組み後の自己評価は高く、多くの生徒が英語力の飛躍的向上を実感し、提案内容と連携した画像をタブレットPCで順次提示しながら、ビジネスの場で行われているような英語でのプレゼンテーションができた。

インターネットを利用して、紹介する国について英語で書かれた資料を読むことで、初見の英文から必要な情報を読み取る力が養われた。紹介したい内容を、ALTの助けを得ながら英語にすることで、意欲的に英作文に取り組めた。教員や他の生徒が発表する内容を聞いてワークシートに記す作業を通して、ポイントを聞きとる力がついた。